

令和4年度第1回諫早市健康福祉審議会

1 期 日 令和4年10月20日（木）午後7時～午後7時40分

2 場 所 諫早市役所 5階 大会議室

3 出席者 委員 18名

浦 泰委員

小川太洋委員

小野由利子委員

草野洋介委員

早田美穂子委員

寺井雄一委員

出口晴彦委員

中尾理恵子委員

中野伸彦委員

西村久美子委員

平田昭輔委員

福田富美子委員

平間美代子委員

堀 剛委員

松藤久傳委員

満岡 渉委員

森 淳子委員

山口 実委員

欠席者 委員 2名

小川政吉委員

福田邦子委員

事務局 18名

4 会議次第

委嘱状交付式

委嘱状交付

健康福祉審議会

開会

会長選出

諮問

市長挨拶

議事

- (1) 職務代理者指名
 - (2) 議事録署名人指名
 - (3) 部会委員の指名
 - (4) 諫早市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について
 - (5) 諫早市健康増進計画（健康いさはや21（第四次））について
- その他
- 閉会

【委嘱状交付式】

1 委嘱状交付

(略)

【健康福祉審議会】

1 開会

○事務局

令和4年度第1回健康福祉審議会に移ります。

本日の出席者について御報告いたします。

本日は、委員20名のうち小川正吉様、福田邦子様の2名の委員におかれましては欠席の御連絡をいただいております、ただいまの出席者は18名でございます。諫早市健康福祉審議会条例第7条第2項の規定により、委員の過半数の出席が認められますので、本会議が成立することを報告いたします。

なお、本日御出席の委員の皆様及び事務局職員につきましては、お手元に配付させていただいております座席表のとおりとなりますので御確認をお願いいたします。

それでは、会議を開会いたします。

審議会の進行につきましては、本来であれば審議会会長が行うところでございますが、まだ選出されておられませんので、それまでの間、進行を事務局において務めさせていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。

なお、協議に当たり、御発言いただく際は、挙手の上、卓上マイクの青いボタンを押して御発言いただき、終わられましたら改めて青いボタンを押していただきますようお願いいたします。また、議事録作成の都合上、御発言につきましては録音をさせていただきますので、あらかじめ御了承ください。

2 会長選出

○事務局

続きまして、それでは、会長を選出させていただきます。

会長は、諫早市健康福祉審議会条例第5条第1項の規定により、委員の互選となっておりますので、協議をお願いいたします。

A委員。

○A委員

失礼いたします。これまで長く当審議会に関わっていらっしゃいます、また、会長の経験もあられます寺井委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

○事務局

皆様、A委員から御発言がありましたよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○事務局

では、寺井委員、どうぞよろしくお願いいたします。

3 諮問

○事務局

続きまして、市長から健康福祉審議会への諮問を行います。

市長から寺井会長に対しまして諮問書を提出させていただきます。

寺井会長は市長席前までお願いいたします。

○市長

諮問書。諫早市健康福祉審議会様。諫早市長、大久保潔重。

諫早市高齢者福祉計画・第9期諫早市介護保険事業計画について。諫早市健康福祉審議会条例第2条の規定により、諫早市高齢者福祉計画・第9期諫早市介護保険事業計画について、貴審議会の意見を求めます。

諮問書。諫早市健康福祉審議会様。諫早市長、大久保潔重。

諫早市健康増進計画（健康いさはや21（第四次））について。諫早市健康福祉審議会条例第2条の規定により、諫早市健康増進計画（健康いさはや21（第四次））について貴審議会の意見を求めます。

4 市長挨拶

○事務局

それでは、ここで市長が御挨拶申し上げます。

○市長

令和4年度第1回諫早市健康福祉審議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、御多忙の中、また、昼間の御仕事でお疲れのところを御出席いただきまして誠にありがとうございます。

先ほど健康福祉審議会委員の委嘱状を交付させていただきましたが、皆様には委員への就任を快く御承諾いただきまして、心から感謝を申し上げます。

この審議会は、市民の健康増進、社会福祉の向上、医療体制の充実を図ることを目的に設置しており、各分野に関する基本計画、実施計画、その他重要事項について調査、審議することになっておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、本日は、令和6年度からの諫早市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画と諫早市健康増進計画（健康いさはや21（第四次））について諮問いたしました。この二つの計画は、今年3月に策定しました諫早市地域福祉計画の分野別計画として位置づけられるものであります。諫早市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画は、高齢者が要介護の状態となっても住み慣れた地域

で自分らしい生活を最後まで続けることができる地域社会の実現を目指す目的の計画であり、諫早市健康増進計画（健康いさはや21（第四次））は、健康寿命の延伸や市民総ぐるみの健康づくりを推進する指針となる計画であります。

さらに、今年度はもう一つ、来年2月に諫早市障害者・障害児福祉計画の諮問も予定しております。今後、皆様に御審議をお願いするわけですが、あらゆる面からの検討が必要であり、各分野において専門的な知識と豊富な経験をお持ちであります皆様の御意見は、諫早市の進むべき道を明るく照らし出す光となるものと期待しております。

また、最近の地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少等だけでなく、新型コロナウイルスの流行や国際情勢の影響により大きく変化しております。このような社会情勢の中、私は、郷土の近未来像として掲げる「来てよし、住んでよし、育ててよし！あなたのまち・諫早！！」の実現を目指し、市民の皆様と手を携え、一人一人が尊厳を保ち、支え合いながら、安心して暮らし続けていくことができるよう、力を尽くしてまいりたいと考えております。

どうぞ委員の皆様方におかれましては、2年間の委嘱期間、諫早市の将来における健康・福祉・医療の方向性を示すため、何とぞ御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方の御健康と御多幸を御祈り申し上げ、私の御挨拶といたします。

令和4年10月20日、諫早市長、大久保潔重。

どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

以上をもちまして市長から健康福祉審議会への諮問を終了いたします。

大変恐縮ですが、ここで市長は公務の都合により退席いたします。

ここで、諮問書の写しを配付させていただきます。

では、ここからは寺井会長に議事進行をお願いしたいと思います。

寺井会長、会長席に移動をお願いいたします。

それでは会長、どうぞよろしくお願いいたします。

5 議事

（１）職務代理者指名

○会長

皆さん、改めましてこんばんは。諫早市社会福祉協議会の寺井と申します。今回、会長に推薦されたので、また責務を果たさせていただきたいと思っています。

さて、人生100年時代ということで非常に響きのいい言葉なんですけれども、長く生きるということは、それだけリスクを負うという形も決して見逃せ

ない部分だと思っています。

2025年問題ということで、これまでよくそういったことが言われたその2025年まであと3年です。これは、いわゆる昭和22年から24年までに生まれた団塊の世代といわれる方々です。その数、恐らくざっくり言うと800万人近くおられるということです。

そうしたときに、これから考えなければいけないことは、医療費とかあるいは介護保険料とかかなり経済的に圧迫を受けるということも一つの要因でもありますし、また、そのときの数値的なデータでいけば、高齢者5人に1人は認知症になるとも言われています。そういったことを考えていくと、必ずしも喜んでばかりはいられないなと思っているところです。本当に先行き不透明な時代に入ってきました。

戦後270万人生まれていた子供たちが令和元年度では86万人、いわゆる86万ショックといわれたものですが、この構造から考えていくと高齢者が亡くなっていく多死社会、そして子供たちが生まれてこないという状況を見ると、早く手を打っていかないと私たちの場合にはどうにかなるかと思うんですけれども、子供、孫、そのまた子供というふうに考えていくと非常に厳しいものがあるかと認識しているところです。

諫早市もそういったことも考えながら四つの部会をつくり、高齢者に関わるもの、障害者に関わるもの、それから子供たちに関わるもの、そして保健医療に関わるものという中でこれに迫っていこうという計画を立てているところだと思います。市長のお話にもありましたけれども、昨年度、諫早市では健康福祉に関わる総合計画を策定しました。この会議はそれにまたリンクさせていく形になるかと思っています。

諮問の中で二つ頂きましたけれども、高齢者に関わる部分、それから介護保険事業という形になるかと思っていますけれども、この後またよろしく御審議方お願いいたします。

後は座って話を進めさせていただきます。

それでは、議事の1番目、職務代理者の指名について、諫早市健康福祉審議会条例第5条第3項の規定により、職務代理者を指名させていただきます。

これについては一応、前もって事務局と御本人が話し合ったということで、諫早歯科医師会の会長の浦委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《浦委員了》

よろしくお願いいたします。

(2) 議事録署名人指名

○会長

次に議事の２番目、議事録署名人を指名したいと思います。小野委員、よろしいでしょうか。

《小野委員了》

では、浦委員、小野委員、よろしくお願いいたします。

(3) 部会委員の指名

○会長

次に議事３番目、部会委員の指名についてを議題といたします。

まず、本審議会と部会の構成について事務局に説明を求めます。

○地域福祉課長

皆様こんばんは。地域福祉課長の芦塚と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、健康福祉審議会と部会につきまして私から御説明申し上げます。

A４縦長の参考資料の１ページ、諫早市健康福祉審議会及び専門部会の構成の左側を御覧ください。

諫早市健康福祉審議会は、本資料の４ページに掲載しております諫早市健康福祉審議会条例に基づき、市民の健康増進、社会福祉の向上及び医療体制の充実に努めるため、市長の付属機関として設置するものでございます。

所掌事務といたしましては、市長の諮問に応じ、健康、福祉、医療に関する計画や重要事項について調査、審議する機関となっております。

委員は２０名で学識経験者６名、社会福祉事業従事者４名、医療従事者４名、社会福祉団体その他公共団体に属する６名の方で構成しております。

これまでの開催状況は記載のとおりでございます。

次に資料の右側、専門作業部会ですが、これまで高齢福祉部会、障害福祉部会、健康医療部会、子ども・子育て部会の四つの部会を設置しており、今後も基本的にはこのような構成で調査、審議をお願いしたいと考えております。

審議会委員の皆様におかれましては、本日、会長の指名により部会の委員をお願いするものでございます。

なお、２ページに諫早市健康福祉審議会の概要、３ページには健康福祉に関する計画期間を掲載しておりますので、後ほど御覧いただければと存じます。

以上、私からの説明でございます。よろしくお願いいたします。

○会長

それでは、今、事務局のほうから説明がありましたが、部会委員について、御承認いただけますでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○会長

よろしくお願いいたします。

（４）諫早市高齢者福祉計画・第９期介護保険事業計画について

○会長

それでは、次に議事の４番目、諫早市から本審議会に諮問されております諫早市高齢者福祉計画・第９期介護保険事業についてを議題にいたします。

事務局からの説明をお願いいたします。

○健康保険部長

皆さん、こんばんは。健康保険部長の村川と申します。

今回、諮問をお願いしております二つの計画が健康保険部の担当となりますので、私のほうから御挨拶をさせていただきます。

改めまして、委員の皆様におかれましては委員の就任につきまして快くお引き受けいただきありがとうございます。本日も夜間の開催にかかわらず御出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本日は二つの計画の概要とスケジュール等について説明をさせていただきます。

一つ目の諫早市高齢者福祉計画・第９期介護保険事業計画につきましては、老人福祉法及び介護保険法に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心安全に日常生活を送れるように高齢者支援施策と介護保険事業を一体的に取り組むための計画となります。

二つ目の諫早市健康増進計画（健康いさはや２１（第四次））につきましては、健康増進法に基づき、健康寿命の延伸、市民総ぐるみの健康づくりを計画の趣旨として、諫早市の健康づくりの指針として策定してございます。この後、それぞれ担当課長から説明をさせますので、委員の皆様におかれましてはそれぞれのお立場から忌憚のない御意見を賜りますようお願いいたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○介護保険課長

皆様、こんばんは。介護保険課長の馬場と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より介護保険、高齢者福祉を含め、健康推進に対しまして御尽力をいただき誠にありがとうございます。

また、本年４月の機構改革に伴いまして介護保険、高齢者福祉の所管がより細分化されまして、この分野を地域福祉課、地域包括ケア推進課、介護保険課が所掌しているところでございます。

それでは、先ほど諮問させていただきました諫早市高齢者福祉計画・第９期介護保険事業計画について着座にて説明をさせていただきます。

配付資料の議事資料の２ページをお開きください。

新たな計画の概要について御説明いたします。計画名でございしますが、諫早

市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画でございます。根拠法令等につきましては高齢者福祉計画は老人福祉法、介護保険事業計画については介護保険法に基づくものでございます。

現在の策定状況でございますが、第8期計画として令和3年度から令和5年度の3か年を計画期間として策定しており、この計画に基づいて事業の進捗を図っているところでございます。

今回の新計画策定におけるポイントでございますが、まず高齢者福祉計画につきましては、御承知のとおり、急速に進む超高齢化社会への対応といたしまして、新計画期間中に迎える団塊の世代が後期高齢者となることを見据え、現計画の検証を踏まえ、また、市の健康福祉総合計画である諫早市地域福祉計画との整合を図りつつ、高齢者のニーズに即した実効性のある計画を策定することとしております。

次に、介護保険事業計画でございます。団塊ジュニア世代が65歳以上となり高齢化が一段と進む2040年に向けて、前計画から引き続き高齢化の進展に対応し、地域包括ケアシステムの深化、推進に取り組むことといたしております。

また、令和5年7月中に国が示します予定の第9期基本方針の骨格案、また、地域や高齢者の課題等をよりの確に把握するための高齢者実態調査、そして市内各地域で実施しております介護予防と生活支援の語らん場などで出されている意見等も参考にしながら策定を進める予定といたしております。さらに、給付の実績や高齢者の推計に基づきまして適切なサービス料等の見込みも設定を行ってまいりたいと考えております。

策定の趣旨でございます。これにつきましても現在の計画を踏襲することとなりますけれども、高齢者が住み慣れた地域で安心安全な日常生活を送れるよう、途切れることのない高齢者施策を進めることとしております。

計画の性格、役割でございます。こちらもこれまでどおり、計画期間は3年間とし、第9期は令和6年度から8年度までの3か年計画と位置づけております。計画に盛り込む事項につきましては、高齢者の状況、現状と見込み、高齢者福祉事業の現状と計画概要、介護保険事業の現状と計画概要など、あとは資料編ということでアンケート結果などを掲載する予定でございます。

策定期間でございますけれども、令和6年の2月頃を目途といたしております。次に3ページをお開きください。

これがスケジュールになっております。左側上段ですけれども、健康福祉審議会の欄です。令和4年10月、本日でございますけれども、この健康福祉審議会において計画の策定の諮問をさせていただきましたが、右側の国県等関係機関の欄、国から実態把握のための調査の指示があっておりますので、これを踏ま

えまして市で調査票の案の作成を行いまして、来月 11 月に第 1 回を予定いたしております高齢福祉部会の中で実態把握のための調査票などの御審議をお願いする予定といたしております。この御案内につきましては後日御連絡をさせていただきたいと考えております。

その後、実態調査を行いまして、来年 7 月に第 2 回の部会を開催させていただき、内容につきましては、第 8 期介護保険事業計画に基づき、令和 3 年度、令和 4 年度の進捗状況、高齢者実態調査の結果報告、基礎データや国の基本指針案などの提示をさせていただきたいと考えております。

その後、10 月頃に 3 回目の部会を予定いたしておりますが、先ほど申し上げました国の基本指針に基づきまして、この指針との整合を図りながら計画の構成や高齢者の現状と見込み、高齢者福祉事業の現状と計画概要、介護保険事業の現状と計画概要などの素案につきまして御審議をいただきたいと思いますと思っております。

部会でいただきました意見を取り込みながら、11 月には中間案という形で取りまとめをさせていただきまして、12 月頃を目途にパブリックコメントの実施を予定したいと思っております。

年が明けて令和 6 年 1 月に、最終案の確認をするための最後の部会を開催させていただき、2 月頃に計画を本審議会へ答申させていただく予定で進めさせていただきたいと考えております。

長いスパンでの部会となりますけれども、何とぞよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、次期高齢者福祉計画、介護保険事業計画の策定についての御説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

ただいま事務局のほうから計画の策定概要と、それから大まかな策定スケジュールということで説明がありました。

質問を受けたいと思います。もし質問があればよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○会長

それでは、特になければ、本件につきましては計画の具体的内容について当審議会にて審議することとしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

（５）諫早市健康増進計画（健康いさはや 21（第四次））について

○会長

それでは、次に議事の 5 番目、諫早市から本審議会に諮問されております諫早市健康増進計画、いわゆる健康いさはや 21 の第四次ですが、これについて

を議題といたします。

事務局からの説明をお願いします。

○健康推進課長

皆様、こんばんは。健康推進課の前田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、委員の皆様におかれましては、日頃より本市保健行政の推進に御理解と御協力をいただいておりますことに対しまして、この場を借りましてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

それでは、先ほど諮問させていただきました諫早市健康増進計画（健康いさはや21（第四次））でございますが、着座にて説明させていただきたいと存じます。

資料でございますが、恐れ入りますが議事資料の（5）の4ページをお開きいただきたいと思います。

初めに、策定概要につきまして御説明申し上げます。

計画名は諫早市健康増進（健康いさはや21（第四次））となります。根拠法令につきましては、健康増進法第8条第2項の市町村健康増進計画に基づくものでございます。

条項の内容でございますが、市町村は国の基本方針及び都道府県健康増進施策を勘案して当該市町村の住民の健康増進の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めるものと定めているものでございます。

続きまして、現在の策定状況でございます。

現在は第3期の諫早市健康増進計画、健康いさはや21として平成30年度から令和5年度までの6年間を計画期間として策定しており、この計画に基づきまして事業の進捗を図っているところでございます。したがって、計画の最終年度でございます令和5年度末までに、次期計画を策定する必要があるものでございます。

続きまして、今回の新計画策定におけるポイントでございます。

ポイントとして3点挙げさせていただいております。

まずは○（丸）の一つ目でございます。市で計画を策定するに当たりましては、令和5年春に公表を予定されております国の次期健康増進計画及び長崎県の健康増進計画の基本方針、施策、事業、目標等との整合性を図りながら、国、県の策定の見直しなどの内容を勘案し、具体的な各種の施策、事業等に関する目標を定め進めてまいりたいと考えておるところでございます。

次に○（丸）の二つ目でございます。諫早市健康増進計画健康いさはや21の上位計画といたしまして位置づけられております諫早市の健康福祉総合計画でございます諫早市地域福祉計画、そして市の健康福祉分野の計画との整合性

を図りながら実効性のある計画を策定することとしてございます。

最後に三つ目の○（丸）でございます。今年度市民の健康意識や健康習慣の状況、そして健康に関する市民ニーズや国、県の動向などの基礎的な調査及び社会情勢の変化に伴う現計画の進捗状況等を踏まえまして最終評価を行い、次期計画の策定を進めていくこととしてございます。

続きまして、策定の趣旨でございます。家庭や地域、職場、学校、保険医療関係団体、健康づくり関係団体、そして行政が連携、協力しながら生活習慣病の発症予防と重症化予防、生活習慣の改善、また、市民お一人お一人が生涯にわたって健康づくりに取り組めるような環境づくりによりまして、市民の生命の延長だけではなく、健康寿命の延伸、そして健やかで質の高い生活の実現を目指していくことを策定の趣旨としてございます。

続きまして計画の性格、役割でございます。健康寿命の延伸や市民総ぐるみの健康づくりを推進するための諫早市における健康づくりを総合的かつ計画的に推進するための指針として、また、健康な暮らしを実現するため、市民お一人お一人が主体的に健康づくりへの取組を進めていくための行動計画としての計画、性格、役割を持つものでございます。

続きまして、計画に盛り込む事項でございます。計画の内容につきましては、今後、健康医療部会で御審議をいただくこととなりますが、ここでは2点挙げさせていただきます。

まず1点目といたしまして、妊娠、出産期から更年期までの各ライフステージごとにそれぞれ健康に関する問題や課題を整理いたしまして、ライフステージごとの行動指標、健康指標、個別の施策を計画の中に盛り込むこととしてございます。

そして2点目といたしましては、健康な地域づくりの推進でございます。健康増進のための目標設定や目標に達するまでの過程におきまして地域住民が主体的に参加し、その意見を積極的に健康増進の取組に反映できるようにしてまいりたいと考えております。また、家庭、地域、学校、職域、関係団体、行政の役割を分担いたしまして、それぞれの団体で進めていく計画にしたいと考えております。

なお、この健康いさはや21計画を推進するに当たりましては、現在、本市では諫早市健康づくり推進協議会が中心に健康づくりの運動を進めていただいております。市民が主体的に参加できる体制が整ってございます。次期計画におきましても、このような住民参加の協議会からの意見などをいただきながら健康増進の取組に反映できるような体制を継続してまいりたいと考えてございます。

続きまして、策定期間につきましては、現計画の計画期間が令和5年度末である令和6年3月で終了することになりますので、令和4年度から令和5年度

にかけまして新計画の策定を進めていくものでございます。そのため、策定期間は令和6年の2月頃としております。

続きまして、5ページを御覧いただきたいと存じます。

計画策定のスケジュールについて御説明させていただきます。ここにお示しさせていただいておりますスケジュールにつきましては、現段階での予定でございますので、今後の進捗の状況によりましては変更になりますことを御了承いただきたいと存じます。

まず、表の一番左側でございます。健康福祉審議会及び健康医療部会の案でございます。10月のところになりますが、本日、この健康福祉審議会におきまして計画の諮問をさせていただきました。そして、11月から12月にかけて、第1回目の健康医療部会の開催をお願いしたいと考えております。この中では、現計画の数値目標の検証及び取組の評価、健康に関する市民のニーズの実態把握のためのアンケート調査や基礎調査等を実施した後、集計、分析にて評価を行うことといたしております。

その後、新年度に入りまして、アンケート調査などの基礎調査の結果等を踏まえ、新たな健康課題を抽出し、現計画の最終評価、計画の構成案、計画の概要等を部会のほうにお示しさせていただきたいと考えております。

その後、令和5年度夏ぐらいに国、県の実施計画の数値目標や計画の内容などを盛り込みながら素案をまとめていきたいと考えております。

そして、同年11月頃には健康医療部会で中間の計画案を御審議いただいた後、パブリックコメント、市民の皆様からの御意見を頂戴したいと考えてございます。

そして、令和6年1月から2月にかけて、健康医療部会において計画の最終案、答申案について取りまとめの御審議をいただき、最終的に2月末頃に健康福祉審議会におきまして市長への答申ということで進めさせていただきたいと考えているところでございます。

以上、誠に簡単ではございますが、諫早市健康増進計画（健康いさはや21（第四次））の策定につきまして説明を終わらせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○会長

担当課のほうから、健康いさはや21策定の概要と策定スケジュールについて説明がありました。

御質問あるいは御意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○会長

それでは、本件につきましては、計画の具体的内容について当審議会にて審

議することにいたしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○会長

これまでも諫早市のほうで、前の計画についても非常に学識を有する方々、あるいは現場で頑張っておられる方々の意見をくみ上げて、すばらしい計画ができていたと私は評価をしております。またこれがバージョンアップできるように、また今後もよろしくお願いいたします。

6 その他

○会長

それでは、最後にその他ということで委員の皆様から何か意見等ございませんでしょうか。コロナ禍ということもあり、ことさらに引っ張りたくはないので、もしなければ終わりたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○会長

今後の審議会につきましては、第2回審議会を2月に開催予定にしております。先ほどの説明であったとおりです。また今後について、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。

○事務局

事務局のほうから、今後の審議会の予定などについて御説明いたします。

第2回の審議会については2月に開催予定としております。また、部会につきましては、子ども・子育て部会、高齢福祉部会、健康医療部会の3部会とも11月から12月にかけて開催する予定としております。各部会の開催については、別途、御案内を差し上げさせていただきますので、部会に所属されている委員の方につきましては、御出席のほどよろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。

7 閉会

○会長

ほかになければ、これをもちまして本日の議事を終了いたしたいと思います。

ここで事務局、古賀こども福祉部長から発言の申出がっておりますのでお願いいたします。

○こども福祉部長

こども福祉部長の古賀でございます。閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

御存知の方も多いと思いますが、今年の4月に大幅な機構改革を実施いたしまして、これまでの健康福祉部がこども福祉部と健康保険部ということで再編をされたということでございます。

この健康福祉審議会につきましては、これまで健康福祉部が担当しておりましたけれども、新体制となりましてこども福祉部と健康保険部に分かれたということもありまして、この二つの部が協力、連携して進めてまいることになりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

健康福祉審議会の主たる窓口といいますか、所管はこども福祉部ということになっておりますけれども、本日の議題のように健康保険部が中心となった内容についての審議をお願いする場合もございます。一応この２部で対応させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それから、障害者・障害児福祉計画についても年明けに諮問をお願いする予定にしておりますので、こちらの方についても御協力をよろしくお願いいたします。

これから部会というところで具体的な議論をお願いをしたいと思っておりますので、引き続き御協力をいただければと思っております。本日は誠にありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。

先日ネットを見ていたら、昭和、平成、それから令和と続いている人気漫画のサザエさんがありますが、磯野波平さんの設定年齢は５４歳。えーっと思ったんですけれども、よくよく考えてみると当時は恐らく定年も５５歳、平均寿命も７０歳ぐらいだったんじゃないかなと思います。それからすると大分変わったなと。

ちなみに、手塚治虫さんが描いている６０代の老人は、腰が曲がり、歯が抜けて、そして老眼鏡をかけた本当によぼよぼした６０代。でも、この前見ていたら、郷ひろみさんは６６歳と。えーっ、このギャップは何なんだろうと。ほんの何年かの間にこんなふうに変わってきてるんだなと、ここら辺も敏感に感じながら、できれば諫早市民、私も含めて元気に健康でありたいなと思っております。（笑）

以上をもちまして令和４年度第１回の諫早市健康福祉審議会を閉会いたします。皆さん、大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

（午後７時４０分終了）